

平成25年行政事業レビューシート

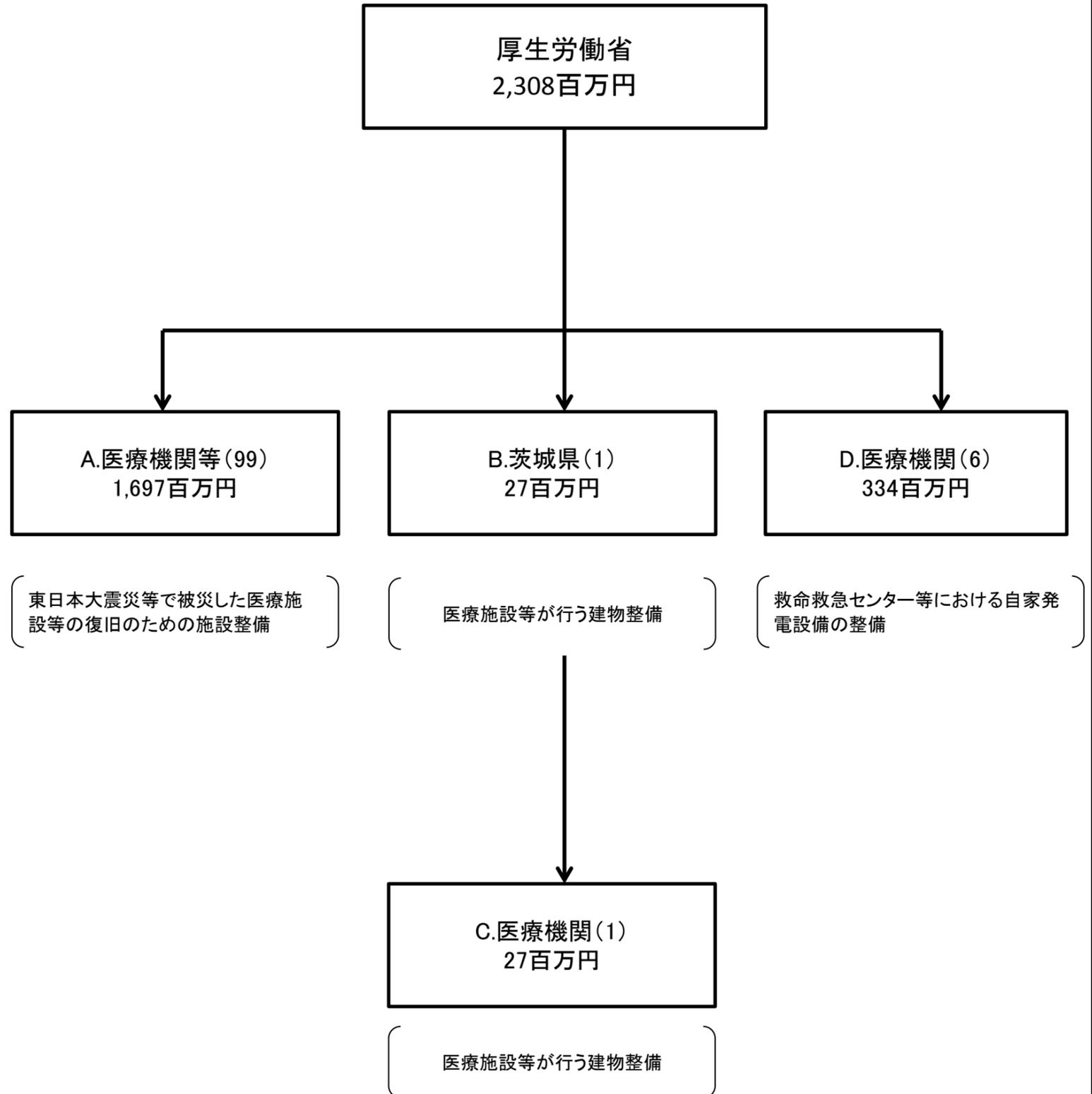
(厚生労働省)

事業名	医療施設等の災害復旧等		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長 田中 剛	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災において被災した医療機関等を早急に復旧し、被災地における医療提供体制の復興を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災で被災した医療施設等の災害復旧のため、施設整備等について所要の追加財政措置等を行う。 (国庫補助率) 公的医療機関(公立・公的) 2/3 ※通常1/2の補助率を特別立法措置により補助率を嵩上げ救命救急センターなど(上記以外の施設) 1/2						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算					
		補正予算		22,154			
		繰越し等		▲ 2,901	2,241		
	計		19,253	2,241			
	執行額		4,622	2,058			
執行率(%)		24.0%	91.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	被災した医療機関の復旧を迅速に実施する		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	災害復旧費の補助実績		活動実績(当初見込み)	施設	-	420	-
					-	(-)	(-)
単位当たりコスト	13,618千円/施設		算出根拠	医療施設災害復旧費補助金1施設当たりの補助実績			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	-	-	-	-			
	計	-	-				

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	被災地の医療を確保するために東日本大震災により被災した病院等を復旧することは広く国民のニーズがあり、国費を投入すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	大規模災害発生時における医療施設の災害復旧は国として実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	東日本大震災により被災した病院等を復旧し、被災地の医療を確保するための事業であり、国として最優先で実施すべき事業である。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	災害復旧に当たり、公立病院は3分の2、政策医療を担う民間病院は2分の1の事業主負担を求めているが負担割合については妥当であると考えます。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	単位当たりのコストについては、補助金の申請者(病院等の担当者)と査定官(厚生労働省職員)、立会官(財務省地方財務局職員)による机上査定又は実地査定を実施することにより、真に復旧が必要な整備に限り支出を行っており、コスト水準は妥当と考えます。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	資金の流れについて、医療施設近代化施設整備事業において、都道府県の医療計画に基づく事業計画に基づき医療施設等が行う建物整備について補助を実施しており、合理的であると考えます。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	災害復旧費の交付に当たり、補助金の申請者(病院等の担当者)と査定官(厚生労働省職員)、立会官(財務省地方財務局職員)による机上査定又は実地査定を実施しており、真に復旧が必要な整備に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	東日本大震災により被災した病院等を復旧し、被災地の医療を確保するための事業であり、実効性は極めて高い事業である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	医療機関を復旧することにより、被災地における医療提供体制の復旧に貢献している。	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
	-	-		-
点 検 結 果	医療施設等災害復旧費補助金は、被災病院等に交付済みであり、各病院において復旧整備に着手しているところである。			
外部有識者の所見				
-				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				

-	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	984

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.水戸協同病院			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	災害復旧	350			
計		350	計		0
B.茨城県			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	建物整備補助	27			
計		27	計		0
C.ひたちなか母と子の病院			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	建物整備	27			
計		27	計		0
D.八戸市立市民病院			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	自家発電設備の整備				
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	水戸協同病院	建物等の災害復旧	350		
2	公立岩瀬病院	建物等の災害復旧	300		
3	気仙沼市立本吉病院	建物等の災害復旧	88		
4	東北医科専門学校	建物等の災害復旧	73		
5	気仙沼市立病院	建物等の災害復旧	63		
6	大崎市医師会附属高等看護学	建物等の災害復旧	60		
7	大崎市医師会附属准看護学校	建物等の災害復旧	48		
8	堀耳鼻咽喉科眼科医院	建物等の災害復旧	43		
9	JAとりで総合医療センター	建物等の災害復旧	39		
10	洋向台クリニック	建物等の災害復旧	39		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県	医療施設等が行う建物整備について補助	27		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ひたちなか母と子の病院	建物整備	27		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	八戸市立市民病院	自家発電設備の整備	73		
2	順天堂大学医学部附属静岡病	自家発電設備の整備	70		
3	水戸済生会総合病院	自家発電設備の整備	61		
4	茨城県立こども病院	自家発電設備の整備	46		
5	神奈川県立こども医療センター	自家発電設備の整備	46		
6	聖マリアンヌ医科大学病院	自家発電設備の整備	39		